

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の活動

- 8月3日、各分会大会
- 8月7日 執行委員会
- 8月8日 林野労組九州連絡会
役員会(大分市)
- 8月29日 九州地方林退会総会

匠の腕

『街中にある巨大アリーナ』

(撮影者：中島純也・佐賀分会)



「匠の一言」
2023年に完成した佐賀アリーナ。今年開催される国スポの会場の一つでもあります。

20回目の節目の大会で活発な議論が行われる 将来を見据えた意思統一

～林野労組九州地本第20回定期大会～



意思統一し団結ガンバロー

九州地本は、7月19～20日、熊本県玉名市「ヨコイヤホテル」において、全国林野関連労働組合九州地方本部第20回定期大会を開催し、各分会代議員など約50名が参加しました。
新型コロナウイルスが5類移行になり2年連続で集合形式により開催されました。

大会は、議長団に蒲池(大分西部分会・北部ブロック)、平松(局分会・熊本ブロック)両代議員を選出し、議事が進められました。
冒頭、加藤地本執行委員長は「この一年間、それぞれの職場において、様々な課題の解消に向け取り組んできたことに対して感謝申し上げる。元日に発生した能登半島地震や、九州でも近年自然災害が多発している。被災された方にお見舞いを申し上げる」とあいさつ。
(あいさつ要旨は別掲のとおり)その後、来賓参加である、林

野労組中央本部の中村執行委員をはじめとして、各来賓からあいさつを受けた後、連合・林野

労組各地本をはじめ各政党・議員、友誼団体からのメッセージが披露されました。
引き続き、地本執行部から2023年度経過と総括、2023年度決算報告、会計監査報告、2024年度運動方針(案)、2024年度予算(案)、2025年度暫定予算(案)、事務報告、組織財政確立委員会報告が提案され、質疑・討論が

行われました。
質疑・討論では、様々な課題が分会から発言され、ほとんどの分会が抱えている大きな課題として、要員問題や、現場管理機能問題、昇格基準問題等の多くの意見が出されました。また、各種手当てについては、今後詳細が示される予定である、旅費の取扱い等、労働条件に関する課題について、今後も引き続き

行われました。
質疑・討論では、様々な課題が分会から発言され、ほとんどの分会が抱えている大きな課題として、要員問題や、現場管理機能問題、昇格基準問題等の多くの意見が出されました。また、各種手当てについては、今後詳細が示される予定である、旅費の取扱い等、労働条件に関する課題について、今後も引き続き

その後、各ブロック代表による総括討論と地本決意表明があり、引き続き、分会機関紙コンタクトの表彰、大会スローガン、全日程を終了しました。

大会宣言が採択されました。最後に、加藤地本執行委員長による団結ガンバローで、大会全日程を終了しました。



地本委員長あいさつ 取組の強化ときめ細かな組織運営を

今年、元日に「能登半島地震」が発生し、改めて自然災害の怖さというものを実感しました。地本としても日頃から情報収集等に努め、組合員の命と健康を守ることを最優先に取り組んでいきたいと思っております。

私からは、課題等、3点について報告し、挨拶に代えたいと思っております。
まず一つは、取り巻く状況についてであります。
岸田政権は発足当初はソフト感を漂わせてきた印象でしたが、その後、いろんな問題に対して説明責任を果たさず、国会を軽視した態度に終始し、議論が尽くされていない問題法案を次々に成立させています。

コロナ禍でも、国民に寄り添わず、国家が国民の生命・財産を守る責務を果たすべき時に、政府・与党につながる疑惑や事件に幕引きを図ってきた。このことは岸田政治のおごりと怠慢だと思います。
こうした状況の中、4月に行われた、衆議院の補欠選挙では、全ての選挙区で立憲民主党の勝利という結果になりました。また、7月に行われた東京都知事と都議の補欠選挙においても、自民党は惨敗しています。この流れを衆議院選挙につなげていく必要があると思っております。

衆議院の解散については、その見通しは未だ不透明となつていますが、いつ解散があつても対応出来るよう準備を進める必要があります。
林野労組としては、森林・林業政策の推進、山村振興、国有林野事業の推進等を図るために、国会対策を中心とした取組が重要との認識の下、立憲民主党を基軸に、林業に造詣の深い議員の確保に取り組むこととなります。
現在、連合本部においては、地方連合からの要請に基づき推薦決定が行われていますが、林野労組においては50数名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。

九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。九州地本では、現在、9名の推薦決定にとどまっています。



最近様々な所で選挙が行われている。それぞれ応援する人がいることと思う▼

そんな中で某国の選挙で候補者が演説中に狙撃されるといふショッキングな出来事があった。応援する政党は違えど、同じ人間であり敵ではないと思いませんか、組織で問題を解決していくことは重要だと思いませんか。
今後オルグによる情報伝達を強化し、情報の共有化を図るとともに、分会書記長会議等を開催しながら、若手育成の取組を強化するなど、きめ細かな組織運営に努めていきたいと思っております。
そして、九州地本として労働組合の果たすべき役割を自覚しながら、強靱な組織づくりを高めようという努力をしたいと思いますので、分会段階においても、同じ認識に立ち、組織強化に向けた取組を最後にお願したいと思っております。
ともに頑張りましょう。
(SUKIE)

地本大会の質疑・討論

国有林野事業の推進

◆要員関連課題について

小山(局分)
空きポストが増加し、負担を強いられている。業務の平準化と新採の確保を。

米本(熊本南部分会)
現職森林官が少なく、中堅層が少なく、バランスのとれた要員配置を。

井上(大分分)
特に森林官の空きポストについて、事務取扱が増えている状況。そういった部分は特に苦労している。今年度は、大分署のみ新採の配置がなかった。解消に向けて交渉を。

松永(鹿児島分会)
空きポストの要員配置については、鹿児島でも大きな課題のひとつ。特に8月1日付けの人事異動で、総括事務管理官が空席となった。分会でも署長に抗議していく考え。地本としても早期配置に向けた交渉強化を。

秋吉(長崎分会)
長崎でも4つの森林官が空きポストとなっている。業務が回らない事や労働過重が著しい。引き続きの要員確保の取組を継続して取り組んで欲しい。

坂本(沖縄分会)
世界遺産登録地など重要な位置づけにある沖縄署については、



秋吉(長崎)



坂本(沖縄)



米本(熊本南)



井上(大分)



松永(鹿児島)



坂本(沖縄)



井上(大分)



松永(鹿児島)



坂本(沖縄)

適材適所の人材配置を求める。

岩本(宮崎北部分会)
フルタイム再任用者等の森林官配置で、森林官に任用できない者が出てこないようにしなければならぬ。

和田(宮崎南部分会)
森林官の空席ポストが増加している。現場管理機能の確保の観点からも、人員配置を求める。

井上(西都児湯分会)
要員不足に起因して、メンタル症状が出ないか心配している。

◆新設ポスト要求について

峯(佐賀分会)
大規模自然災害が全国各地で増加している。九州で総括治山技術官が設置されていない署が三署ある。設置された森林土木指導官も空席となっている。災害がひとたび起これば、その対応に追われ、業務量も著しく増加する。設置されていない署に総括治山技術官のポスト要求を取り組んで欲しい。

系業務に精通した職員の不足に対応すべく、2025年の新規採用者から新設することで検討されている。内容としては、森林官に任用せず、現場業務については基礎研修で知識を習得しつつ、総務系の業務を主に担当していく制度となっている。

地本では、人材育成の支障となっているのは、2〜3年の人事異動サイクルであるとし、その見直しと、国有林では現場管理業務のスキルが重要であり、それを踏まえた制度となるよう求めている。

◆早期退職について

峯(佐賀分会)
職員の早期退職が増えている。要員が厳しい中、早期退職が増えれば益々厳しさが増していく。特に残念なのは、若い人たちが職場を去って行くこと。そういったことを防ぐために、地本として分会にアドバイスはなにか。

業務運営関連

◆林道維持修繕予算の確保

白内(北薩分会)
今年度の林道予算も厳しい状況となっている。しかし、路面の洗掘や、路肩の決壊も多く見られる。実態を踏まえた交渉を行うてもらいたい。

◆危険木処理予算の確保

田畑(福岡分会)
海岸林等もあり、危険木も多い。危険木予算は年々減少している。危険木予算は年々減少している。危険木予算は年々減少している。

対応するので、分会としても当局への対応をお願いする。

危険木処理予算については、年々減少傾向にあることは承知している。

予算がないから処理できず、被害が起こるからでは賠償金の問題も発生することから、地本として更なる予算の確保に向け当局に対応するので、分会としても上申の際に詳しい現況等踏まえ上申していただくことは元より当局への対応をお願いしている。

◆3号通達については、過去の重大災害や悲惨な労働災害の経験を踏まえて様々な通知・通達を整理された、九州の労働安全のバイブルとも言える通達である。最近ではこの通達が薄れてきている感があるのでではないか。また、時代背景として当時の働き方と現在の働き方とは状況は変わってきているため、活用出来る部分は活用しながら、中身の部分が活用しながら、補完する形で地本でも見直しや議論することがあるのか見解を。また、引き続き、通達に基づき対策の強化を。

生命と健康を守る取組

◆安全の確保と対策について

市原(熊本)
・森林官等の現場業務における単独行動については、現在の要員体制だとせざるを得ない状況にある。対応策として森林事務所への職員の配置、臨時雇用による日々雇用するもの厳しい状況。単独行動が解消出来ないため対策を。

・3号通達については、過去の重大災害や悲惨な労働災害の経験を踏まえて様々な通知・通達を整理された、九州の労働安全のバイブルとも言える通達である。最近ではこの通達が薄れてきている感があるのでではないか。また、時代背景として当時の働き方と現在の働き方とは状況は変わってきているため、活用出来る部分は活用しながら、中身の部分が活用しながら、補完する形で地本でも見直しや議論することがあるのか見解を。また、引き続き、通達に基づき対策の強化を。

行い安全対策に取り組んでいるところ。意見のとおり、すぐわかない部分もあることは認識している。見直しが出来るところがあれば検討していく。また、3号通達の認識が薄れることがないよう、引き続き求めていく。

人命尊重を基本理念として、年度末までゼロ災を継続させていくという強い気持ちを持って災害の未然防止に向け取り組む。

生活を守る取組

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

作りを。

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

要員課題は全国的な課題であるが、九州でも危機的な状況だと考えている。そのしわ寄せは組合員にきており、地本としても先を見据えた交渉強化を継続している。

◆人材育成について

河本(都城分会)
検討されている総務系キャリアパスとは、具体的にどのようなものか。

◆早期退職について

峯(佐賀分会)
職員の早期退職が増えている。要員が厳しい中、早期退職が増えれば益々厳しさが増していく。特に残念なのは、若い人たちが職場を去って行くこと。そういったことを防ぐために、地本として分会にアドバイスはなにか。

「地本見解」

総括治山技術官の設置については、一般会計移行の際の事業量が判断されたもの。既に12年が経過し、ご意見のとおり大規模な自然災害が九州各地でも頻発している。設置基準の見直しとポスト新設を求め、地本でも交渉を継続していき、引き続き、交渉を継続していき。

◆人材育成について

河本(都城分会)
検討されている総務系キャリアパスとは、具体的にどのようなものか。

◆早期退職について

峯(佐賀分会)
職員の早期退職が増えている。要員が厳しい中、早期退職が増えれば益々厳しさが増していく。特に残念なのは、若い人たちが職場を去って行くこと。そういったことを防ぐために、地本として分会にアドバイスはなにか。

「地本見解」

地本としても考えは同じ。状況が個々に違いがあり、特効薬はないのが本音であるが、九州地本が結成当時から言っている一声運動、一枚岩運動が大事なのだらうと考える。まずは声をかけて、そういった移行がある情報を知ったならば、まずは話を聞くことだと考える。分会の組織態勢確立の取組をお願いしたい。

「地本見解」

◆車両の更新

米本(熊本南部分会)
林道予算の減少で、悪路も多い状況である。車両の更新の際には小回りが可能な車両に更新出来るよう交渉してほしい。

◆生産量について

白内(北薩分会)
業務予定は、金額では昨年と同程度となっている。人員も減少している中で、収入の確保に苦慮している。労働過重とならないよう交渉の継続を。

「地本見解」

◆安全の確保と対策について

市原(熊本)
・森林官等の現場業務における単独行動については、現在の要員体制だとせざるを得ない状況にある。対応策として森林事務所への職員の配置、臨時雇用による日々雇用するもの厳しい状況。単独行動が解消出来ないため対策を。

・3号通達については、過去の重大災害や悲惨な労働災害の経験を踏まえて様々な通知・通達を整理された、九州の労働安全のバイブルとも言える通達である。最近ではこの通達が薄れてきている感があるのでではないか。また、時代背景として当時の働き方と現在の働き方とは状況は変わってきているため、活用出来る部分は活用しながら、中身の部分が活用しながら、補完する形で地本でも見直しや議論することがあるのか見解を。また、引き続き、通達に基づき対策の強化を。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。

「地本見解」

◆人事評価について

藤川(局分会)
資格取得を目指す者や取得した者の適切な人事評価の実施を求める。

「地本見解」

◆旅費法の改正について

藤川(局分会)
旅費法の改正は、労働条件に大きく影響するので、取組を求める。



和田 (宮崎南部)

柿田 (宮崎分会)
定年延長の給与水準7割はモチベーションが維持できない。改善に向けた取組を求める。

新庁舎への移転が予定されているが、一部の通勤者が不便となってしまう。改善に向けた取組を求める。

「地本見解」

赴任旅費に伴う自家用車の運搬費については、公務労協と連携し交渉を展開しているが、現状にとどまっている。多くの組合員が自己負担で運搬している実態を踏まえ、交渉を強化していく。

また、賃上げについて、地方でできる取組は全て行い中央へ繋げたところ。連合集計では昨年を上回るポイントではあるが、人事院勧告と比例するとは限らないので、給与法改定までを見据え、手を緩めることなく取り

青女傍聴発言



青年女性委員会
は、昨年7月に開催した第18回青年女性委員長会議で確認した方針に基づき、「仲間を一人にしない」を柱に各分会が様々な活動・学習を展開する中で生活・職場実態改善と仲間の団結強化に向けて取り組みをすすめています。

今年度も全分会で署長等会見を実施しました。2月には全分会での春闘学習交流集会を開催し、各分会から浮き彫りになっ



河本 (都城)

組んでいく。
山上等作業手当の拡充については、各ブロックからも参加し九州人事院事務局と交渉してきた。先般、人事院本院が国有林野の現場を視察するなど、堅実に前進していることで、引き続き取組を継続していく。

定年延長に係る給与7割措置については、65歳を見据えた給与カーブの改定に向け、引き続き公務労協と連携し取組を強化していく。

新庁舎への移転に伴う課題について、実行する中で見えてきた課題は適宜交渉等で解消を図っていく。また、自家用車の移転料の対象とならないかセツトで検討していく。

政策・制度の取組

◆ジェンダー平等について
井上 (天分会)
地本の議案書にジェンダー平等

「仲間を一人にしないを柱に」

た実態を総務企画部長会見において改善要求しました。生活・職場環境をはじめとした各課題の改善に向け引き続き継続して取り組みます。

また、九州地本青年女性委員会の団結強化を目的とした全体集会を開催する為、資金活動に取り組まれました。今回は「森人ボロシャツ」の販売を展開しましたが、販売枚数は385枚と当初の予想を超える結果となりました。組合員の皆様、またご



藤川 (局)

等に対するものが記載されていない。今後は記載すべきと考え

「地本見解」

記載していないから取り組んでいないということではない。九州地本青年女性委員会と連携して、「連合ジェンダー平等推進中央集会」や中央女性集会に参加している。労働組合が男女平等参画社会の実現に向けて期待される役割を理解し、次回の地本大会の議案書に盛り込むよう地本の執行委員会と議論する

組織体制確立

後藤 (局分会)
組織対策について、組織対策強化月間は青女も含め全体で対策進めてきた。しかし、現在も新規採用者がまだ1名未加入となっている。工夫して取り組んできたが、今後も組合員の皆さ

家族の皆様ご協力本当にありがとうございます。引き続き全体集会開催に向け、資金活動を先行予定としておりますので、各分会でのセールのもあわせてお願いします。

これまでこの傍聴発言や委員長会議において、青年女性委員の集まる場の確保をお願いしてきたところですが、業務の負担増などによりなかなか集まれないのが現状です。この状況を打開するために、各ブロック



米本 (熊本南部)

んと協力しながら進めていきたい。また、今年度に入ってから3名の脱退者が出ている。脱退の意思が固まる前に何か対策が出来なかったかという思いはある。改めて一声・一枚岩運動が重要であると感じており、何か良い案があれば共有してもらいたい。

「地本見解」

組織対策強化月間に新規採用者と選考採用者25名中23名が加入しており、分会段階での取り組みに対して感謝申し上げる。未加入の2名のうち1名は、昨日の質疑討論の場で、近日中に加入となること報告されており、粘り強く対応して頂いた分会に対して改めて感謝申し上げます。残りの1名については、仕事の場でも声を掛けたりしているが、まだ加入には至っていないところである。今後も様々な工夫を行いながら分会とともに

「地本見解」

組合費の引き下げについては、質上げ等の各種取組を進める上で、現行の率が最低水準となっていることを理解いただきたい。奨学金等が課題となっているのであれば、借り換えを提案するなど世話焼き運動の側面からもフォローしてほしい。



白内 (北薩)

取り組んでいきたい。また、脱退者については、様々な事情があると思われるが、今後も組合員全体で一声・一枚岩運動を継続し、アンテナを高くしながら状況の把握に努め、分会と一体となって取り組んでいきたい。

組合費の引き下げについては、現行の率を見直すべき。奨学金を返済している若者も多く、負担が大きいと感じている。

希望のある未来へ向け 青年女性が一枚岩に

～第19回九州地本青年女性委員長会議～



井上 (西都児湯)



市原 (熊本)



山形委員長の挨拶で一枚岩に

(青女委・山形通信員)
7月20日～21日に「九州森林労連会館」にて、「第19回九州地本青年女性委員長会議」を開催しました。今回の会議では、分会代表者及び傍聴参加者合わせて31名が参加しました。冒頭、山形青年女性委員長は「国有林野事業の健全化や労働条件の改善、九州地本青年女性委員会の更なる組織体制の強化・発展に向け本会議が有意義なものになるよう活発な意見をお願いしたい。」と挨拶、続いて来賓の九州地本古村書記長より労働組合の必要性や取り組み



後藤 (局)

について、激励の挨拶を受けました。その後、議長に細川代議員(佐賀分会)と村岡代議員(熊本分会)を選出し、議事が進められました。

最初に、常任部より「2023年度闘いの総括」、「2023年度行動経過報告」、「2024年度運動方針(案)」の提案がありました。質疑・討論では「若手職員が係長ポストの仕事をしている」「現在女性職員の採用数も増えているため、女性委員についても年齢制限を設けてほしい」「住居手当の改善」「新規採用者の加入促進に向けた対策はあるか」「業務服を要求する際に試着できるといい」といった様々な実態や意見が報告されました。

最後に、常任部より「集まり話し合う場の確保として定例会の実施」「大衆諸行動として署



田畑 (福岡)



思いを込めたガンパロー!!

長等会見の実施」「全体集会に向けた物販活動への協力」を改めて提案しました。今後も各分会で青年女性委員会の大会を開催し、「仲間を一人にしない」を柱に委員相互の団結強化を図るなどこれまでの活動を無駄にすることなく、継続した取り組みを進めることが重要であると再確認し、全会一致で運動方針(案)は採択されました。

九州ろうきん
インターネットでいつでもどこでも申込みOK!
カーライフローン 教育ローン キャンペーン
キャンペーン期間: 2024年8月1日(木)～2025年3月31日(月)
変動金利 年1.8%～年2.1%
固定金利 年2.0%～年2.3%
教育ローン 年2.2%～年2.5%



多くの仲間が集結!!

